

光BOX⁺（EMS版）「HB-2000」

簡 単 操 作

----- 取扱説明書（電力メーター編） -----

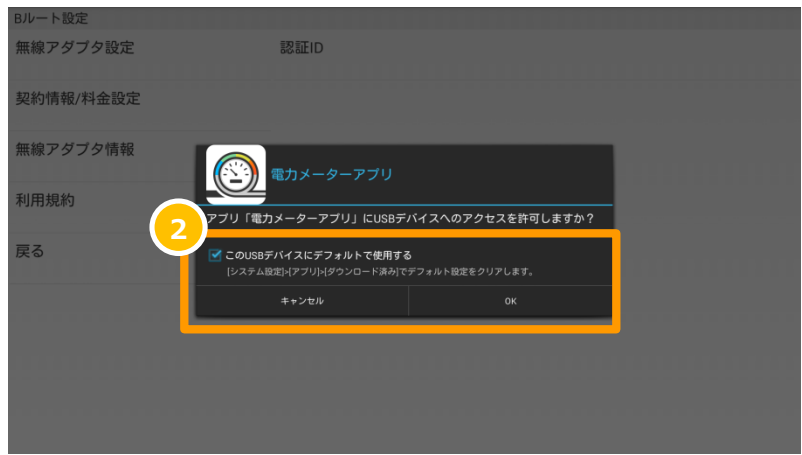
I. 電力メーターアプリによる電力使用量の見える化 スマートメーターとの接続（1/2）

光BOX+（EMS版）とスマートメーターを接続することにより、ご家庭全体の電力使用量をご確認いただけるようになります。
（電力メーターアプリのご利用には、一般送配電事業者（東京電力パワーグリッド株式会社 等）が提供するスマートメーターの設置、及び電力メーター情報発信サービス（ブルーサービス）の「認証ID」、「パスワード」の申込が必要です。）

- 1 ●電力メーターアプリのご利用は、光BOX+（EMS版）本体正面の「USB 1」、もしくは本体背面の「USB 2」へ、Wi-SUN dongleを挿した状態で行ってください。Wi-SUN dongleをUSBに挿し込むことで、スマートメーターとの接続が可能になります。



- 2 Wi-SUN dongleを挿すと以下の画面が表示されますので、チェックを入れ、「OK」を選択してください。

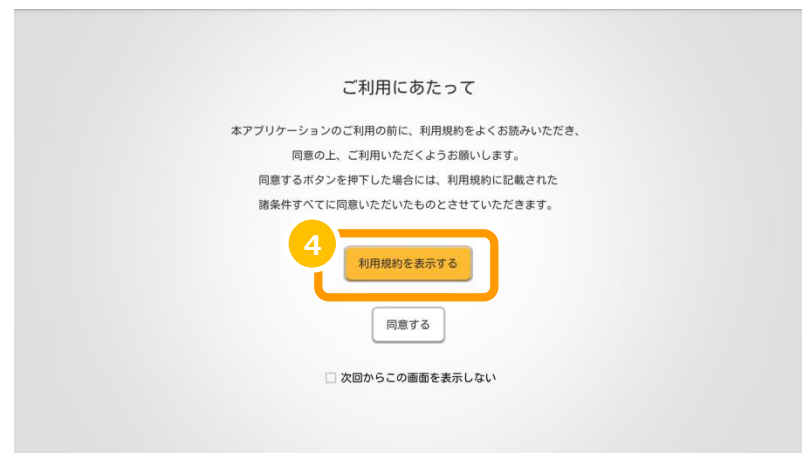


- 3 「電力メーターアプリ」を起動してください。



- 4 初期起動時には、アプリの設定を実施してください。※ 1

※ 1 アプリのご利用には利用規約への同意が必要となります。



I. 電力メーターアプリによる電力使用量の見える化 スマートメーターとの接続 (2/2)

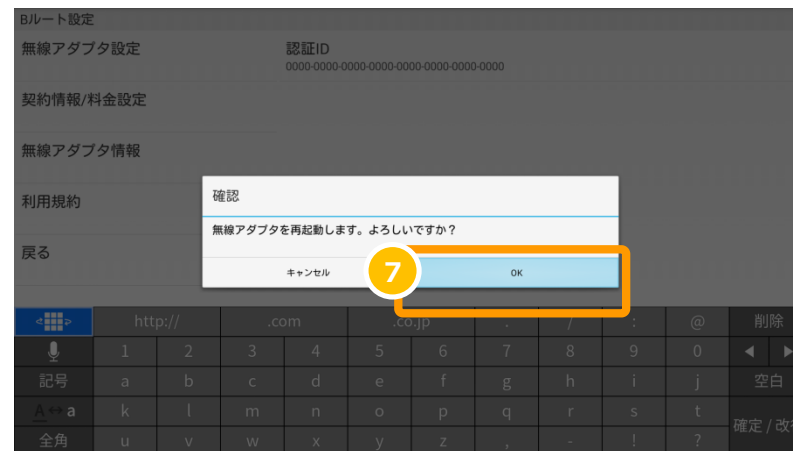
- 5 ご契約中のアンペア数を選択してください。
契約アンペアが分からない場合は「60A」を選択してください。



- 6 「無線アダプタ設定」を選択し、認証IDとパスワードを入力してください。



- 7 確認メッセージが表示されますので、「OK」を選択してください。
電力メーターアプリの設定はこれで完了です。



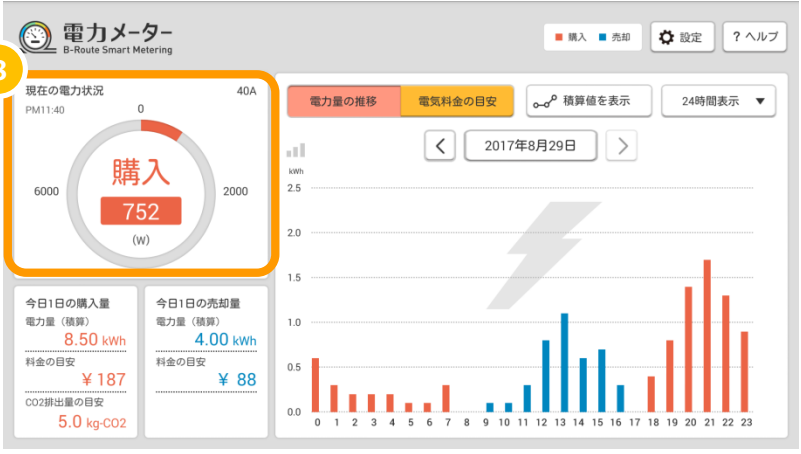
電力メーターアプリにおける注意点

- ◆ スマートメーターの認証IDおよびパスワードは、ご契約中の電力会社へご確認ください。
- ◆ 光BOX+ (EMS版) およびスマートメーターの設置環境によっては、Wi-SUNの電波が届きにくいことがあります。電波状況により動作が不安定になる場合があります。
- ◆ 設定完了後、スマートメーターとの接続には、しばらく時間がかかることがあります。
- ◆ 利用規約を表示する際は、インターネットに接続した状態で行ってください。
- ◆ 光BOX+ (EMS版) は常時電源が入った状態で、インターネットに接続された状態でのご利用を想定しています。インターネット回線障害時や、停電時にはサービスはご利用できません。
- ◆ 光BOX+ (EMS版) 本体の時刻設定が正しく行われていない場合はアプリの利用やデータの蓄積ができません。

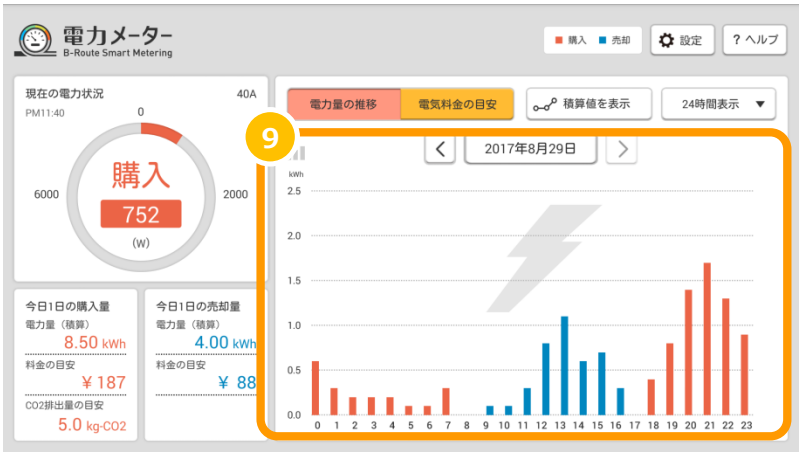
Ⅱ. 電力メーターアプリによる電力使用量の見える化 主な機能

電力メーターアプリでは、購入電力量、売却電力量や電気料金の目安等を確認することができます。

- 8 スマートメーターから取得した瞬時電力の値を表示します。
(1分周期で値を更新します。)



- 9 スマートメーターから取得した積算電力量を1時間単位でグラフで示します。



- 10 グラフの表示のスケールを「24時間表示」「1ヵ月表示」「1年表示」に切り替えることができます。



- 11 グラフの種類を「電力量の推移」または「電気料金の目安」に切り替えることができます。



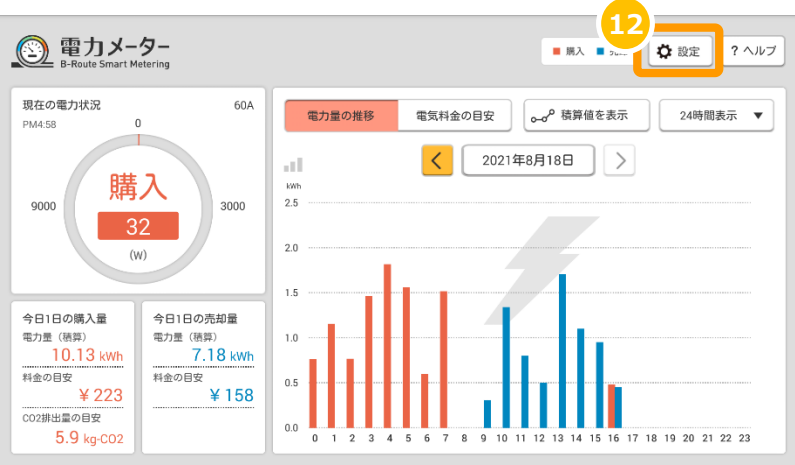
Ⅲ. 電力メーターアプリによる電力使用量の見える化 過去のスマートメーター確認

電力メーターアプリでは、スマートメーター交換後も過去のスマートメーターの積算電力量を確認することができます。

※光BOX+は収集した電力量情報を現在月から起算して13か月分保持します。

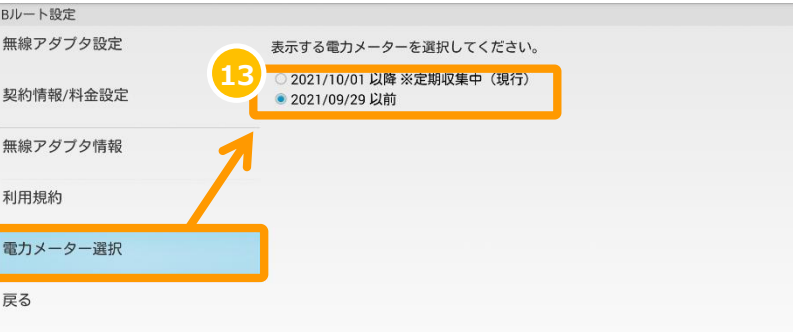
例：現在日が2021/12/25の場合、2020/11/1のデータまで保持します。それ以前のデータは月初に1ヵ月単位で削除されます。

12 「設定」を選択してください。



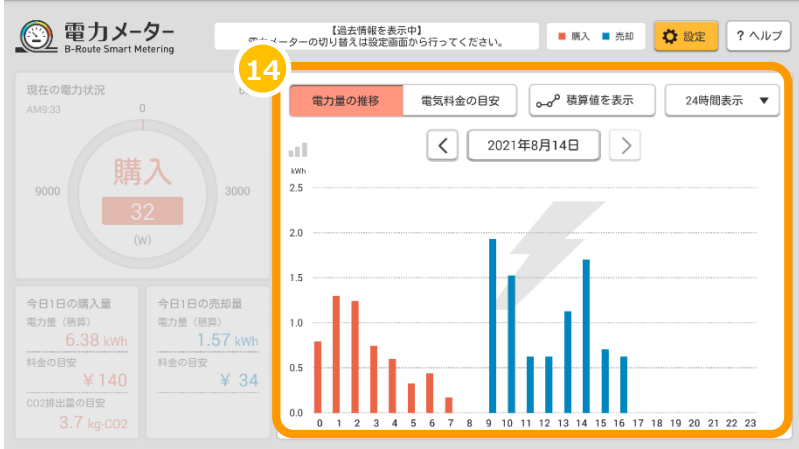
13 「電力メーター選択」を選択し、確認したい過去のスマートメーターを選択してください。

※スマートメーターを交換していない場合、「電力メーター選択」は表示されません。



14 過去のスマートメーターの積算電力量を確認することができます。

※グラフの変更方法は3ページと同じになります。



15 現行のスマートメーターに変更する場合は再度「電力メーター選択」から現行のスマートメーターを選択してください。

